

“安心して出産するために”

「妊婦歯科検診」を受けましょう

最後に歯科受診したのは
いつですか？



妊娠中は口内環境が変わるため、歯周病やむし歯が進行しやすいといわれています。

朝来市の妊婦歯科検診の結果より「歯肉からの出血」や「歯石が付いている」妊婦さんがとても多いのが現状です。これを治さず、放置してしまうと「歯周病」は悪化します。

その歯周病が重度になると治ることは難しく、さらに早産や低体重児出生のリスクが高まります。

お口の健康に不安を感じていない場合でも、安定期に入ったら「朝来市妊婦歯科検診」を受けましょう。

同時に、今後のためにもかかりつけ歯科医を持っておきましょう。

すでにかかりつけ歯科医があり、定期的に受診している方は、かかりつけ歯科医と相談しながら健診等継続し、お口の健康を維持してください。

◆ 妊娠中のお口のトラブルを守るヒント ◆

歯をみがく時は、歯ブラシを
細かく動かしてみがく

歯をみがきづらい時は、洗
口液（ノンアルコール・医薬部外品の
もの）を活用してみる



つわりがある時は、小さめ
の歯ブラシを使ってみる

つわりで吐き気がひどい時は、
“前かがみ”の体勢で、歯をみ
がきやすくする

～ 赤ちゃんの歯・お口の成長も始まっています！ ～

妊娠 7 週頃から歯や味覚などお口の成長が始まります。

口唇を動かしたり、指しゃぶりをしたり、胎内でお口も育っていきます。

そのためにも妊娠中の栄養バランスや生活習慣は大切です。

また、出産後には身近な家族の唾液を通じて、赤ちゃんのお口の中にむし歯菌が伝播することもあります。

むし歯から守るため、赤ちゃんにむし歯菌をうつさない工夫の一つとして、家族の方は歯科受診し、治療を済ましておくことも重要です。



歯周病は若い世代でも増えています。
産後は受診が困難になることが予想されます。
まずは受診し、今のお口の状態を知り、
守っておきましょう！